

札幌社保協 FAXニュース

2012年 7月31日(火)
社保協事務局 発行
Tel.823-0867 Fax.821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

一体改悪反対
宣伝を強化し、
国会に要請を!

生活保護法をいかし、攻撃とたたかう 白石区社保協が学習会



白石区社保協は2月の姉妹孤立死のシンポに続き、7/22に生活保護学習会「孤立死をなくそう—生活保護をなくす道」を開催し、白石区の各団体をはじめ、市内から65人が参加しました。

児玉健次代表委員が講師となり、社会保障の歩みを振り返りながら「生活保護法」の条文について説明。現在生活保護バッシングで家族・親族の扶養問題が言われているが、保護法では「扶養」が要件（保護を受けるための条件）ではないことを述べました。また朝日訴訟の意義や、国会に提出されている「社会保障制度改革推進法案」の危険性についても強調しました。

意見交換の中では、実際にご自分が生活保護相談に行った際に区役所で相手にされず、病院の相談員に同行してもらいやっと受けることができたという体験も出されました。また、姉妹孤立死事件以降、各団体等の要請・抗議や全国調査団の市や区への要請もあって、保護行政ではいくつかの改善や変化も出ていることも紹介されました。

児玉代表は終わりにあたって「生活保護世帯が増えたのは非正規雇用の増大等によるものだが、生存権を保障する生活保護制度は権力側にとって目の上のコブである。2004年に福岡の学資保険裁判（保護世帯の両親が子どもに学資保険をかけていたものを収入認定されたことで裁判に訴え、死後娘さんが引きついで）ではたたかって勝利したことを教訓に、権力のねらいをよく見てたたかおう」と訴えました

東区社保協総会

介護、生活保護、消費税 力を合わせたたたかおう！



7/27夜、東区社保協の総会が開かれ各団体から30人が参加しました。始めに道社保協大橋会長が「社会保障改革推進法案」の危険な内容について講演しました。

参加者からは、介護—国会要請と国会情勢の報告、守る会—今年の110番の相談では介護保険料が高いという相談が多い、生活保護バッシングで受給者や相談者への心理的圧迫が強まっている、民商—商売人の営業と生活はますます厳しく、商売のための投資の借金返済ができない、消費税増税を何としてもやめさせたい等の発言がありました。

社保協が中心となった東区SOS相談会は、10月に開催することも確認されました。

消費税の大増税反対！ 医療労働者を中心に宣伝とパレード

7/21午後、道医労連を中心に道社保協や道民医連等各団体も参加して、一体改革関連法案の成立に反対、消費税大増税と社会保障改悪に反対する宣伝とパレード行われました。

札幌大通公園西3丁目では医労連の市内各組合の代表が訴え、100人の参加者が通行人や大通公園で休んでいる市民に署名のお願いをしました。また保育連・保育労組も「保育の改悪反対」を訴えて宣伝しました。

参加者は宣伝後すすきのみで横断幕などを持ってパレードをしました。

